

平成 25 年度第 3 回
千葉県社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 平成 26 年 3 月 18 日(火) 午後 7 時～午後 9 時
- 2 場 所 中央コミュニティセンター 8 階会議室 「千鳥・海鷗」
- 3 出席者 (委 員) 畔上加代子、池田孝子、金子充人、高梨茂樹、高野喜久雄、中田緑、西尾孝司
広岡成子、松崎泰子、三宅康彦、和田和子
(委員 13 名うち 11 名出席) (敬称略)
(事務局) 高齢障害部長、高齢福祉課長、高齢福祉課介護予防・認知症担当課長
高齢施設課長、介護保険課長、高齢福祉課長補佐、高齢施設課長補佐他 6 名

4 議 題

- (1) 平成 26 年度地域密着型サービス事業者の募集・指定について
- (2) あんしんケアセンターの公正・中立性の確保について
- (3) 平成 26 年度あんしんケアセンター運営事業計画について
- (4) あんしんケアセンターの活動状況の報告について
- (5) 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について
- (6) 平成 26 年度あんしんケアセンター等運営部会のスケジュールについて
- (7) その他

5 議事の概要

議事に先立ち、会議は議題(1)、(2)は非公開、議題(3)以降は公開であることを確認した。

- (1) 平成 26 年度地域密着型サービス事業者の募集・指定について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (2) あんしんケアセンターの公正・中立性の確保について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (3) 平成 26 年度あんしんケアセンター運営事業計画について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (4) あんしんケアセンターの活動状況の報告について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (5) 地域密着型サービス事業者の指定等の報告について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (6) 平成 26 年度あんしんケアセンター等運営部会のスケジュールについて
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (7) その他

6 会議経過

西尾委員	<p>議事に先立ち、事務局より会議は議題1、2が非公開、議題3以降は公開であることを確認し、その後、部会長が議長となり議事を進行した。</p> <p>～議題1 非公開議事～ ・・・非公開のため、発言内容は非公開・・・</p> <p>～議題2 非公開議事～ ・・・非公開のため、発言内容は非公開・・・</p> <p>～議題3以降 公開議事～</p> <p>議題3 平成26年度あんしんケアセンター運営事業計画について (富田介護予防・認知症担当課長より、議題3 平成26年度あんしんケアセンター運営事業計画について説明を行った)</p> <p>議題3についての質疑応答</p> <p>介護予防の活動報告において、気になるネーミングの教室(お達者クラブ)がありました。高齢者が自立支援のために参加する教室においては、ネーミングはすごく大事だと思います。今後は、参加したくなるネーミングを意識していただくとよいのではないのでしょうか。</p> <p>また、社協と各区・各センターの連携において、地域づくりと介護予防に位置づけた活動をしているセンターはあるのでしょうか。例えば、社協の一つ大きな課題として地域づくりがありますが、そのことと介護予防というのは非常に密接に繋がっていると思います。地域の高齢者が主体となって地域を作っていくという事そのものが実は最も有効な介護予防の活動の一つであるだろうと思いますが、いかがでしょうか。</p>
富田担当課長	<p>各あんしんケアセンターは、地域に入り込んでいこうと考えたときに、社協の地区部会と関係づくりを行い、そこからスタートすることが多い状況です。高齢者といっても元気で活動的な方が多くいらっしゃるの、そのような方がリーダーとなり地域づくり・社会参加という視点であんしんケアセンターも一緒に活動していくことがあります。例えば、見守りのチームを高齢者のお元気な方たちでぜひ立ち上げていこうとか、軽運動教室や歩こう会など楽しみながら健康づくりをしていく働きかけをあんしんケアセンターからする場合もあります。実際、社協の区事務所の方も社協の地区部会の方も非常に協力的で介護予防や地区活動において多くの場面でネットワークを組みながら進めているところです。</p>

松崎委員	<p>地域包括ケアセンターの役割の一つとして、主任ケアマネを中心にいわゆる包括的・継続的ケアマネジメント支援はとても重要な部分です。地域のケアマネさん全体への支援や困難事例における個別支援などの活動が求められていますが、この点はいかがでしょうか。</p>
富田担当課長	<p>地域のケアマネ向けの研修会を開催したり、困難事例の後方支援を積極的におこなっているあんしんケアセンターもありますが、現状として24センターの主任ケアマネの力量に少し差異があります。市としても研修や事例検討会等の開催により資質向上へ取り組んでおりますが、来年度は、新規に主任ケアマネ連絡会を年6回、定期的で開催し、情報共有や資質向上を図り、24センターで差異なく地域のケアマネ支援ができる体制づくりに努めていく予定です。</p>
松崎委員	<p>権利擁護業務について、どのように捉え、具体的に地域の中でどう展開していこうとしているのかセンター間でとてもバラつきがあるように感じますがいかがでしょうか。</p>
富田担当課長	<p>権利擁護業務については、あんしんケアセンターの一部の職員自身が苦手意識を持っている現状があります。市としましては、成年後見支援センターなどの研修や虐待対応の事例検討会などをおこない、資質向上に取り組んでいるところです。実際、地域の高齢者への啓発活動においては、権利擁護単独ではなかなかとつきにくい分野なので、介護予防などと組み合わせて周知をおこなっているあんしんケアセンターもみられます。</p> <p>議題4 あんしんケアセンターの活動状況の報告について (富田介護予防・認知症担当課長より、議題4 あんしんケアセンターの活動状況の報告について説明を行った)</p> <p>議題4についての質疑応答</p>
松崎委員	<p>平成25年度のあんしんケアセンターの活動状況をスライドで見せて頂きましたけれども、ご覧になっていかがでしょうか。</p> <p>私も、医療機関との交流会や多職種連携会議に実際に参加させて頂きましたが、専門職種によって見る視点や観点が違うので、多職種が同じ場で話し合うことの重要性や有効性を実感しました。交流会でも連携会議でも大変理解のある医師の協力により、会議終了後にはケアマネさんや社会福祉士さんなどの福祉職の皆さんも交え名刺交換をして、お互いの専門性について理解を深めていたようです。地域包括ケアの実現に向けて、今後もこのような取り組みの継続は必須だと思います。</p>

広岡委員	県が作成している多職種協働のプログラムを千葉市は行う予定はありますか。
富田担当課長	日頃より千葉県の方とも密接な連携を心がけ、情報をきちんと収集しながら、参加できる部分は積極的に活用していくつもりです。
三宅委員	先ほど報告していただいた稲毛区での民生委員と介護サービス事業所との合同研修会に私も出席させて頂いて大変勉強になりました。私は若葉区にありますが、若葉区でも同じ研修会を行う計画はございますか。
富田担当課長	民生委員とサービス事業者の連携は高齢者支援には必要なことであり、その連携強化を目的とした研修会を開催した稲毛区のアんしんケアセンターの活動は評価できるものです。現在、24か所のあんしんケアセンターがお互いの活動を把握するため管理者会議で情報交換(活動紹介)をしております。よい取組みが他センターへひろがっていけるよう今後も支援していきたいと思っております。
松崎委員	あんしんケアセンターが、お互いに切磋琢磨してよりよい活動に繋がっていけるようになるとういことです。 それでは以上をもちまして、議題4の報告を終わりたいと思っております。
	<p>議題5 地域密着型サービスの指定等の報告について</p> <p>(小川高齢施設課長より、議題5地域密着型サービスの指定等の報告について説明を行った)</p> <p>議題5についての質疑応答</p>
畔上委員	指定更新の際の現地検査においては、市職員は利用者さんにとっては見慣れないので混乱することもあると思います。施設や事業所に行く際にはそういった点への配慮も必要かと思っております。
広岡委員	うさぎとかめおゆみのは利用者15名で、うち10名が生活保護受給者ということですが、生活保護受給者の受け入れ割合の決まりなどはないのでしょうか。
小川高齢施設課長	特に制限などは設けられておりません。
西尾委員	生活保護受給者のように相対的に立場の弱い人たちは、一般的に苦情などをあまり言わないため、このような不正が表面化しにくいと考えられます。福祉である以上、利用制限などは設けるべきではないと思いますが、生活保護受給者の入居割合の高い事業者などは、運営などについてより注視する必要があります。

松崎部会長	ケアマネージャーが不在だったのは平成24年1月から平成25年9月のみの でしょうか。
小川高齢施設課長	はい。実際に計画を作成していたのは別の職員だったとのことです。
西尾委員	この事業所の跡地はどうなるのでしょうか。
小川高齢施設課長	この建物は別にオーナーがおり、エリアヒューマンライフサービスが借り上げてグ ループホームを運営しておりました。今後についてはまだ決定しておりません。
三宅委員	エリアヒューマンライフサービスが運営していたのはこの事業所のみなのでしょ うか。
小川高齢施設課長	船橋市で訪問看護、千葉市若葉区でデイサービスを運営しておりましたが、いずれ も現在は閉鎖しております。 全ての議事について説明、質疑応答、承認が終了し閉会となる。